

穏い パークの 魅力

冬には冬の古河公方公園



◀ 古河公方公園の冬の風物詩「雪吊り」

新年あけましておめでとうございます。

1月を迎え、寒さも一段と厳しくなりました。公園の動植物たちはジッと動かずに春を待ちわびているようです。皆さんのなかにも、コタツの中でジッと春を待っている人いらっしゃいませんか。

冬の公園というと「木には葉っぱもなく、花もない」「人も少なく、寒い」とイメージしてしまいそうですが、そんなことはありません。冬には冬の遊びができるんですよ。

公園の中央、中山台にある富士見塚は芝滑りにちょうど



▲子どもたちの元気な声がこだまする富士見塚の芝滑り

いい丘になっていて、段ボールがあればすぐに遊べます。その奥、芝生広場は広々として障害物がないので風揚げをしても大丈夫です。かくれんぼや鬼ごっこなどで、体がポカポカするくらい遊んでみませんか。

遊び疲れた後は、ゆっくり夕焼けを見てみませんか。冬の夕焼けは特にきれいな気がします。私たちが夕日として見ている太陽は、その頃、中近東サウジアラビアあたりの上にあるそうですよ。そんなことを考えながら夕日を見るのも、ちょっとおもしろいですね。

また、雪華園では松を守るための、冬の風物詩「雪吊り」が今年も見られます。

天気の良い暖かな日は公園に出かけて、冬ならではの公園を楽しんでみませんか。

【問】古河公方公園(古河総合公園)管理棟 ☎47-1129

表紙写真



あけましておめでとうございます。

今年の干支は「申」。表紙の写真は10月下旬、宇都宮動物園で撮影しました。他の動物には目もくれず、目指したのは「サル山」。ニホンザルの親子を撮ろうと2時間カメラを構え、撮った一枚です。好奇心旺盛な赤ちゃんザルは子どもたちが投げ入れた餌を拾いに行ったり、他のサルにちょっかいを出したりして、とってもヤンチャ。でも、お母さんザルに甘えて抱っこをねだる姿はカワイイですね。

今年も市民の皆さんにとって、喜びと幸せに満ちあふれた一年となりますように。

【編集部一同】

寄付



桑原千磨太(呂翁)氏・平野ひろ子氏より、篆刻美術館に高石峯氏・伏見冲敬氏・山田正平氏などの刻印117顆の寄付。

古河市データ

人口



(12月1日現在) 住民基本台帳から
総人口… 144,776人 (+57)
男……………72,835人 (+30)
女……………71,941人 (+27)
世帯数…58,916世帯 (+85)
() 内は前月比